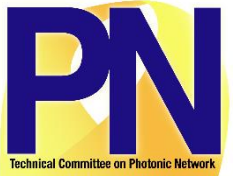


# [BI-4] AI・機械学習がもたらすフォトニックネットワークの新たな可能性



フォトニックネットワーク(PN) 研専

AI（人工知能）や機械学習は、近年で最も革新的とされる技術の一つであり、あらゆる分野で研究や実用化が進められています。フォトニックネットワークにおいても、伝送性能の向上や低コスト化、NW運用支援など多岐にわたる適用が期待されており、国内外でAIや機械学習を活用した様々な研究報告が活発になされています。

本セッションでは、フォトニックネットワークにおけるAIや機械学習の適用について、最新の技術動向や応用例から今後の可能性と課題に至るまで、光伝送からネットワークキングに至るまでの様々な領域において第一線で活躍される研究者にご講演いただきます。

開催日: 2020年9月17日 (木)

9:00 - 9:05	開会の挨拶	
9:05 - 9:30	河崎 純一 氏 (KDDI総合研究所)	光パス制御・監視システムの試作とAI運用監視の取組み
9:30 - 9:55	平野 章 氏 (東京電機大学)	光ネットワークの自動診断技術
9:55 - 10:20	新熊 亮一 氏 (京都大学)	機械学習を用いたリアルタイムなIoTデータ活用のためのネットワーク制御技術
10:20 - 10:30	休憩	
10:30 - 10:55	廣田 悠介 氏 (NICT)	機械学習を用いた光ネットワーク収容設計
10:55 - 11:20	谷村 崇仁 氏 (日立/富士通)	機械学習とデジタル信号処理がもたらすフォトニックネットワークモニタリングの新たな可能性
11:20 - 11:45	中村 守里也 氏 (明治大学)	機械学習による光学非線形波形歪み補償技術